

## 第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表 目次

### 1. 生活機能の強化に係る分野

#### 政策（1） 医療

施策① 救急医療体制の推進 . . . . . 1

#### 政策（2） 健康・福祉

施策① 子育て支援事業の充実 . . . . . 2

施策② 高齢・障がい福祉事業の充実 . . . . . 3

施策③ 健康づくり事業の充実 . . . . . 5

#### 政策（3） 教育

施策① 教育環境の整備 . . . . . 6

施策② 文化・スポーツ活動の振興 . . . . . 7

施策③ 生涯学習活動の推進 . . . . . 9

#### 政策（4） 産業振興

施策① 就労支援と雇用の促進 . . . . . 11

施策② 企業立地の促進 . . . . . 12

施策③ 広域観光事業 . . . . . 13

施策④ 地域ブランド創造促進事業 . . . . . 14

施策⑤ 鳥獣被害防止対策 . . . . . 15

#### 政策（5） 環境

施策① 不法投棄防止対策 . . . . . 16

施策② ごみ処理の広域連携の強化 . . . . . 17

施策③ 木津川流域の環境整備 . . . . . 18

#### 政策（6） 防災

施策① 広域連携による防災力強化 . . . . . 19

施策② 相互応援体制の確立 . . . . . 21

### 2. 結びつきやネットワークの強化に係る分野

#### 政策（1） 公共交通

施策① 地域公共交通対策 . . . . . 23

#### 政策（2） ICT活用

施策① 地域情報の共有化の推進 . . . . . 26

#### 政策（3） 交通インフラの整備

施策① 広域幹線道路等の整備促進 . . . . . 28

#### 政策（4） 地産地消

施策① 地産地消の推進と販路拡大 . . . . . 29

#### 政策（5） 地域内外の住民との交流

施策① 移住・交流施策の推進 . . . . . 30

施策② 空き家の利活用 . . . . . 32

施策③ 公共施設の相互利用 . . . . . 33

施策④ 交流拠点施設の活用などによる地域間交流 . . . 34

### 3. 圏域マネジメント能力の強化に係る分野

#### 政策（1） 人材育成・交流

施策① 圏域内職員の人材育成 . . . . . 35

#### 政策（2） 外部からの人材確保

施策① 専門的な知識経験を有する人材の確保 . . . . . 36

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名					医療・福祉部会					年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
分野No.	1	分野名	生活機能の強化に係る分野		計画	(実施スケジュール)	①救急医療事業 ・伊賀地域における二次救急医療体制を確保するため、関係医療機関へ支援を行う。 ・圏域全体に拡大した救急・健康相談ダイヤル24事業実施対象エリアを維持するとともに救急医療の適正利用について理解が深まるよう周知を行う。	②応急診療所管理運営事業 ・休日、夜間の応急診療所の安定的な運営を維持し、地域医療体制の充実と確保に努める。	・休日、夜間の応急診療所の安定的な運営を維持し、地域医療体制の充実と確保に努める。	→	→				
政策No.	(1)	政策名	医療												
施策No.	①	施策名	救急医療体制の推進												
事業No.	1111	事業名	救急医療												
連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村											
担当課	医療福祉政策課	保健福祉課	保健医療課	保健福祉課											
事業の成果目標	医療に関する相談体制及び休日・夜間の一次救急医療体制を確保することで、軽症患者の診療体制が充実し、圏域住民に安心できる医療体制を提供するとともに、二次救急医療機関の負担軽減を図る。				特記事項	圏域住民が安心して救急医療を受けられるため、救急医療の適正利用や救急・健康相談体制の周知啓発を行う。									
事業概要 PLAN	圏域住民が安心して救急医療を受けられるため、一次・二次救急医療体制を維持するための支援を行うとともに休日・夜間の急病者に対応する診療所を開設し、地域医療体制の充実と確保に努めます。 また、救急医療や応急処置等に関する相談に24時間対応する「伊賀市救急・健康相談ダイヤル24」事業の実施対象地域を維持し、安心できる医療体制を提供するとともに、救急医療の適正な利用を促進します。  【連携事業】 ①救急医療事業 ②応急診療所運営管理事業														
【参考】第1期課題 (改善点) ACTION	①ダイヤル24については、救急医療の適正利用が進むように、啓発方法などを工夫する。 周知を図るため、広報等の方法について検討する。 ②救急医療（一次救急・二次救急）の役割について、地域住民の理解を深めていただけるよう工夫して啓発を行う。 3町村民への啓発にあたっては、近隣の応急診療所の開設していない時間の応急診療に対する啓発に力を入れる。														
実績 (実施内容) DO	①岡波総合病院・上野総合市民病院・名張市立病院の3病院で実施する二次救急医療体制を維持した。 圏域全体に拡大したダイヤル24の対象エリアを維持するとともに広報やホームページなどで周知を行った。 ②関係機関の協力のもと、伊賀市応急診療所の運営体制を維持するとともに、令和5年1月に行った診療所移転については広報やホームページにより圏域住民に周知を行った。														
評価 CHECK	B														
コメント	効果が出ている点 ダイヤル24は昨年度と比べて圏域全体の利用者数は増加した。 応急診療所は新型コロナの影響でコロナ禍前と比べると受診者数は減少しているが一定数の受診者があった。  改善すべき点 ダイヤル24は一定数の利用者はあるものの、さらなる周知・広報が必要。 応急診療所については、応急診療のPRだけではなく、救急医療の適正利用についても引き続き啓発が必要。														
課題 (改善点) ACTION	救急医療（一次・二次救急）の適正利用について、地域住民の理解を深めていただくよう工夫して啓発を行う。														

母体となる市町村事業

事業名	事業内容					
	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村		
救急医療事業、応急診療所運営管理事業						
救急・健康相談ダイヤル24事業						
救急医療事業						
救急・健康相談ダイヤル事業						
事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	伊賀市	151,959	186,319	-	-	-
	笠置町	139	138	-	-	-
	南山城村	258	258	-	-	-
	山添村	278	275	-	-	-

★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

- A: 効果が出ている
- B: 効果は出ているが、改善の余地がある
- C: 効果が出ていない
- D: 事業実施に向け取り組んでいる
- E: 事業未実施

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名					医療・福祉部会					年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
分野No.	1	分野名	生活機能の強化に係る分野		計画	(実施スケジュール)	①子育て相談広場「にんにんパーク」事業 子育て家庭が自然の中でふれあいながら、'走る'投げる'跳ぶ'等からだを使って遊んだり、手作り遊具で遊ぶ広場を提供するとともに保育士による子育て相談により子育て支援を行う。	②病児保育事業 圏域住民が安心して利用できるよう、事業の安定供給に努める。	→	→					
政策No.	(2)	政策名	健康・福祉												
施策No.	①	施策名	子育て支援事業の充実												
事業No.	1211	事業名	子育て支援												
連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村											
担当課	こども未来課 子育て支援室	保健福祉課	保健医療課 税住民福祉課	保健福祉課	実績 (実施内容) DO	①毎月第2日曜日に開催している子育て相談広場「にんにんパーク」に親子で参画できるよう、チラシを配布、また連携町村のホームページにリンクし、ホームページによる周知も含め情報提供を行い12回開催した。 簡単な工作やからだ育て事業への参加者は親子で567名であった。 周知あり 方法：HP、広報誌 ②年間610件の利用のうち、9件が市外在住者で、連携町村からの利用は4件であった。連携町村在住者の利用促進を引き続き図っていく。	→	→							
事業の成果目標	①戸外で活動することで、自然に親しみながら手作り遊具で遊んだり広場を駆け巡ることによって健全にからだ育てができる。また、子育て中の保護者の交流や保育士による子育て相談により子育てを充実させることができる。 ②病児がいても、家庭保育できない児童を一時的に預かり、仕事と子育てが両立できる。														
事業概要 PLAN	①少子化に歯止めをかけるため、交流広場の提供や子育て支援事業を実施することにより、保護者の子育てへの意欲を高め、交流を通して保護者同士の仲間づくりや親子関係を形成します。 地域の子育て支援センターや子育て包括支援センターでは、子育て情報の収集・提供や子育て事業を実施します。 ②病児保育の実施により、病気のために、保育所(園)、幼稚園、小学校などで集団生活が困難で、保護者の勤務などにより家庭で保育できない児童を一時的に預かります。  【連携事業】 ①地域子育て支援拠点事業 ②病児保育事業														
【参考】第1期課題(改善点) ACTION	①育児を楽しみ、安心して過ごせるようまた、気軽に相談できるような体制づくりに努める。引き続きホームページやチラシ、行政放送等で周知に努めていく。 ②委託事業者にも定住自立圏を理解してもらっており、連携町村からの利用を引き続き呼び掛けていく。  【統合事業】 ファミリー・サポート・センター運営事業 結婚サポート事業 保育サービス等の広域実施 乳幼児指導育成事業														
特記事項	子育て情報を知ることができるLINE「いが忍にん健康プロジェクト」の普及を図る等、充実した子育て支援を行う。														
母体となる市町村事業					評価 CHECK	B	→	→							
事業名	伊賀市	①地域子育て支援拠点事業、②病児保育事業													
	笠置町	子育て世代包括支援センター事業													
	南山城村	母子健康指導事業													
	山添村	子育て(包括)支援センター事業													
事業費(千円)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	効果が出ている点 コメント	→	→						
	伊賀市	32,068	33,676	-	-	-									
	笠置町	30	35	-	-	-									
	南山城村	137	90	-	-	-									
	山添村	120	178	-	-	-									
課題(改善点) ACTION	育児を楽しみ、安心して過ごせるようまた、気軽に相談できるような体制づくりに努める。引き続きホームページやチラシ、行政放送等で周知に努めていく。				改善すべき点	→	→								
★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)															
A:効果が出ている B:効果は出ているが、改善の余地がある C:効果が出ている D:事業実施に向け取組んでいる E:事業未実施															

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名				医療・福祉部会				年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
分野No.	1	分野名	生活機能の強化に係る分野				計画	(実施スケジュール)	①介護予防普及啓発事業 ・地域で認知症・介護予防サロンを実施するいきいきサロン等に、音楽療法や3B体操の講師を派遣する。	①介護予防普及啓発事業 ・地域で認知症・介護予防サロンを実施するいきいきサロン等に、音楽療法や3B体操の講師を派遣する。			
政策No.	(2)	政策名	健康・福祉										
施策No.	②	施策名	高齢・障がい福祉事業の充実										
事業No.	1221	事業名	認知症・介護予防										
連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村									
担当課	介護高齢福祉課	保健福祉課	保健医療課	保健福祉課									
事業の成果目標	・誰もが認知症に対する正しい知識を得ることにより、地域の支援者を増やす。 ・認知症の人も介護する家族も、安心して地域で生活することができる。												
事業概要 PLAN	地域で認知症・介護予防事業を実施するいきいきサロン等に音楽療法や3B体操などの講師を派遣します。認知症を正しく理解し、認知症の人とその家族を見守り支える認知症サポーターを養成する講座を開催します。お住まいの地域で、運動や認知症予防を中心とした介護予防活動を実践していただける介護予防リーダーを養成します。 <b>【連携事業】</b> ①介護予防普及啓発事業 ②認知症サポーター養成講座 ③介護予防リーダー養成講座												
【参考】第1期課題(改善点) ACTION	②、③について、参加しやすい会場や時間帯を検討し、早めにチラシ等を配布するなど広く周知していく。次年度も継続して周知する。												
特記事項	連携市町村において事業の周知、派遣依頼取りまとめ、依頼を行う。												
実績 (実施内容) DO	①新型コロナウイルス感染症の影響により、認知症・介護予防サロン等に、音楽療法や3B体操の講師を派遣することが出来なかった。 ②認知症サポーター養成講座を1回実施 ○周知なし 理由：コロナ禍により、圏域への周知は実施しなかった。 ③介護予防リーダー養成講座(15回コース)の受講対象者を圏域に拡大したが、申込はなかった。 ○周知あり 方法：メールで圏域へ案内チラシを送付した。												
評価 CHECK	C												
コメント 改善すべき点	①派遣することが出来ていない未実施の結果を踏まえ再度見直す必要がある。 ②、③について、会場や時間の設定によっては、遠方からの参加が困難である。 ③講座修了後、自主グループ立上げが目的であり、支援の調整がしにくい。												
課題 (改善点) ACTION	①計画を見直すにあたり、4市町村の課題と現状を洗い出し計画をたて連携を図る。 ②、③について、参加しやすい会場や時間帯を検討し、早めにチラシ等を配布するなど広く周知していく。次年度も継続して周知する。 ③介護予防リーダー養成講座は、地域での自主グループ立上げを強化した内容に変更したため、介護予防サロン導入コースに変更する。												

母体となる市町村事業

事業名	伊賀市 介護予防普及啓発事業・地域介護予防活動支援事業				
	笠置町	南山城村	山添村		
	一般介護予防事業	一般介護予防事業	一般介護予防事業		
事業費(千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
伊賀市	9,418	8,721	-	-	-
笠置町	2,802	2,141	-	-	-
南山城村	2,741	1,513	-	-	-
山添村	1,700	2,128	-	-	-

★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

- A: 効果が出ている
- B: 効果は出ているが、改善の余地がある
- C: 効果が出ていない
- D: 事業実施に向け取組んでいる
- E: 事業未実施



第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名	医療・福祉部会			
分野No.	1	分野名	生活機能の強化に係る分野	
政策No.	(2)	政策名	健康・福祉	
施策No.	②	施策名	高齢・障がい福祉事業の充実	
事業No.	1222	事業名	障がい者福祉	
連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村
	○	○	○	○
担当課	障がい福祉課	保健福祉課	税住民福祉課	保健福祉課
事業の成果目標	住み慣れた圏域の中で障がいのある人もない人もだれもが心地よく安心して暮らせるまちをつくるをめざし、各事業や啓発活動等の取組を積極的に行う。			
事業概要 PLAN	すべての住民が障がいの特性を理解し、偏見や差別のない社会を構築することで、障がいのある人が、住み慣れた地域で多くの人々と協力しあいながら、「自分らしい暮らし」を送れるよう、障がい福祉研修事業（職員向け）、障害者週間街頭啓発事業、点字奉仕員等養成事業、点字広報・声の広報等発行事業、要約筆記講座等を実施します。 <b>【連携事業】</b> ①障がい福祉職員研修（職員向け） ②障害者週間啓発事業 ③点字奉仕員等養成事業 ④点字広報・声の広報等発行事業 ⑤要約筆記・聞こえの体験講座（市民・職員向け）			
【参考】第1期課題(改善点) ACTION	研修会参加について、連携町村に対してはより早い時期から周知する等、少しでも参加しやすい条件を整え効果的な啓発を行う。コロナ禍において、今後どのように研修を開催できるか検討する必要がある。			

母体となる市町村事業

事業名	伊賀市	障害者福祉一般経費、地域生活支援事業給付費				
	笠置町	地域生活支援事業				
	南山城村	地域生活支援事業				
	山添村	地域生活支援事業				
事業費（千円）		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	伊賀市	750	800	—	—	—
	笠置町	364	361	—	—	—
	南山城村	483	479	—	—	—
	山添村	14	14	—	—	—


★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

- A: 効果が出ている
- B: 効果は出ているが、改善の余地がある
- C: 効果が出ている
- D: 事業実施に向け取組んでいる
- E: 事業未実施

年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
計画	①障がい福祉職員研修 ・職員を対象とした研修会（2回）を実施する。 ・圏域町村職員の研修会参加者各5名を目標とする。  ②障害者週間啓発事業 ・障がいの特性を理解し偏見や差別のない社会の構築を目指し圏域住民への周知啓発を行う。  ③点字奉仕員等養成事業 ④点字広報・声の広報等発行事業 ⑤要約筆記・聞こえの体験講座 ・点字奉仕員等の養成及び要約筆記・聞こえの体験講座を実施する。 ・ニーズにより点字広報・声の広報等の発行				
	特記事項 ・研修への参加機会を増やし、職員の資質向上を図る。 ・広く圏域住民への啓発周知や各事業を通じ、障がいのある人の地域生活への支援を行う。				
実績 (実施内容) DO	①障がい福祉職員研修を2回実施 第1回 9/28：参加者（59人） 第2回 1/27：参加者（29人） ※連携町村参加者なし。 ○周知なし（理由：職員対象のため市民への周知なし） ②障害者週間街頭啓発用チラシ設置（11/28～12/16） 市役所市民スペース、各支所・各地区市民センター チラシ：1,000枚 包括連携協定企業によるチラシ配布：5,700枚 街頭啓発によるチラシ配布 ○周知なし（理由：当該事業自体が啓発活動であるため） ③点字奉仕員等養成延べ受講者 点訳89人（音訳：未実施） ○周知あり：市広報 ④点字版市広報12回、議会だより4回作成 ○周知あり：市広報 ⑤聞こえの体験講座（第2回障がい福祉職員研修に含む） ※要約筆記体験講座は未実施				
評価 CHECK	B				
コメント	効果が出ている点 ・研修会を開催することで多くの職員が障がいについて正しい知識を学ぶ機会をもつことができた。 ・積極的な啓発活動により圏域住民への周知ができた。				
改善すべき点	研修方法の見直しや、連携町村からの参加方法等を検討する。				
課題 (改善点) ACTION	研修会参加について、連携町村に対してはより早い時期から周知する等、少しでも参加しやすい条件を整え効果的な啓発を行う。今後どのように研修を開催できるか検討する必要がある。				

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名					医療・福祉部会					年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
分野No.	1	分野名	生活機能の強化に係る分野		①健康教室への参加や健康情報の共有 ・対象事業の開催時には圏域全体に広く参加を呼び掛ける。 ・それぞれの圏域に合った健康づくり事業が実施できるよう健康情報の共有について検討する。	①健康教室への参加や健康情報の共有 ・対象事業の開催時には圏域全体に広く参加を呼び掛ける。 ・それぞれの圏域に合った健康づくり事業が実施できるよう健康情報を共有する。									
政策No.	(2)	政策名	健康・福祉												
施策No.	③	施策名	健康づくり事業の充実												
事業No.	1231	事業名	健康づくり												
連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村											
担当課	健康推進課	保健福祉課	保健医療課	保健福祉課											
事業の成果目標	圏域住民の健康に対する意識の向上に向けて健康情報の提供や知識の普及を図る。				(実施スケジュール) 計画										
事業概要 PLAN	圏域住民の健康に対する意識向上、健康増進を図ることを目的として、健康づくり講座を開催します。こころの健康について理解を深め、自分自身及び家族等のこころの健康問題に取り組みます。また、こころの健康問題を抱えた人々を身近で見守りや相談が出来る環境や地域づくりを目指し、こころの健康講座を開催します。 ご当地体操である忍にん体操の普及啓発を図り、健康づくりに役立ててもらうために忍にん体操普及会が各地において講習会を開催します。 圏域に在住する健康づくりに関する知識や資格を持っている方をまちの講師として登録し、講座メニューの充実を図り、圏域住民が活用できる住民ニーズに対応した出前講座を実施します。 また、健康講座や健康測定などそれぞれの地域に合った健康づくり事業が実施できるよう健康情報の提供などを実施します。														
【参考】第1期課題(改善点) ACTION	・コロナ禍において感染予防対策を完全予約制参加人数制限を設けての実施となり広く参加を呼び掛けることが難しい。 ・圏域住民への健康情報の提供について内容・方法を検討する必要がある。				特記事項	健康づくりについて学ぶ機会を提供することで圏域住民の健康意識の向上、行動変容につながることを目指す。									
実績(実施内容) DO	コロナ禍において中止していた地域における出前講座は徐々に再開してきたが感染予防策を講じての開催であり圏域住民を対象としての開催はできなかった。														
事業名	伊賀市	健康づくり推進事業			評価 CHECK	D									
	笠置町	健康教育事業			コメント 効果が出ている点 健康づくり講座等の開催情報を提供しても参加に至らない。参加しやすい方法や内容を検討する。										
	南山城村	疾病予防事業													
	山添村	健康教室、健康ウォーキング事業													
事業費(千円)		R4年度	R5年度	R6年度		R7年度	R8年度								
	伊賀市	700	632	-		-	-								
	笠置町	570	570	-	-	-									
	南山城村	426	432	-	-	-									
	山添村	466	374	-	-	-									
課題(改善点) ACTION	健康づくり講座などへの参加は、距離や時間的な問題もあり難しいことが多い。今後SNSを活用した情報発信やWEBを使用した講座の開催など参加しやすい方法の検討が必要。														

★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

- A: 効果が出ている
- B: 効果は出ているが、改善の余地がある
- C: 効果が出ていない
- D: 事業実施に向け取り組んでいる
- E: 事業未実施



第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名					教育部会					年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
分野No.	1	分野名	生活機能の強化に係る分野		① <b>展覧会、文化祭、イベント等の情報共有・情報発信用のポスター、パンフレットの相互掲示</b>  ② <b>圏域内の団体、個人の交流</b>  ③ <b>実施事業の相互共有</b> 連携市町村間で事業開催情報の共有・発信  ④ <b>交流事業の実施</b> 共通する文化芸術を知り、交流人口（地域住民・世代間交流）の機会を創出  ⑤ <b>講師情報の相互共有</b> 講師の情報を共有する	（実施スケジュール）	政策No.	(3)	政策名	教育	・交流の手法について検討 既存イベントへの住民の相互参加	・交流の手法について検討 既存イベントへの住民の相互参加	・交流事業の実施 既存イベントへの住民の相互参加	・交流事業の実施 既存イベントへの住民の相互参加	・交流事業の実施 既存イベントへの住民の相互参加
施策No.	②	施策名	文化・スポーツ活動の振興												
事業No.	1321	事業名	文化・芸術振興												
連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村											
担当課	文化振興課	相楽郡東部広域連合生涯学	相楽郡東部広域連合生涯学	教育委員会事務局											
事業の成果目標	文化芸術、歴史文化財の情報共有を行うことで、文化芸術、歴史文化財に関心のある圏域内の交流人口の増加を図る。				① <b>市展、文化祭等の情報共有</b> ② <b>圏域内の団体、個人の交流</b> ③ <b>文化財講演会、刊行物等情報の相互共有（文化財）</b>	①事業の情報共有はできたが、コロナ禍により展覧会を開催しても来観者数が少なかった。 ②コロナ禍のため、交流事業を実施できなかった。 ③文化財講演会、刊行物等情報の相互共有について、新型コロナウイルス感染拡大の動向が不透明のなか、講演会等情報共有はできなかったが、各自治体が刊行した埋蔵文化財報告書等は相互送付することにより、文化財情報が共有できるよう努めた。	【横断的視点】 連携市町村内で開催される文化芸術活動への参加を活発にするため、相互に情報共有を行う。 連携市町村間における交流の機会を増やし、研修会などによって交流を活発にする。 文化財についての圏域内の貴重な地域資源として保存・活用を図り、郷土に対する理解と関心を深め、今後の魅力あるまちづくりに役立つよう長く後世に継承し地域の活性化を図る。 【DX・SDGsの視点】 SNSなどを活用し広く情報を周知するとともに、文化芸術に触れる機会づくりにDXを活用していく。								
事業概要 PLAN	圏域内で行われる文化芸術イベントなどの開催情報の共有・発信をすることで、施設の相互利用を促進します。また、圏域内での文化活動への積極的な参加による人的交流と絆づくりを行います。そのほか、芸術家や文化団体などが、ふだん文化芸術に触れる機会が少ない人の元に出向きコンサートやワークショップを行うアウトリーチ事業により、圏域内の小中学生等が文化芸術に触れる機会を創出し、文化芸術の受け手を増やします。 また、圏域内の歴史や文化財についても貴重な地域資源として保存・活用を図るとともに、地域の魅力として情報の一元化や発信等に努めます。  【連携事業】														
【参考】第1期課題(改善点) ACTION	まずは市展等の既存のイベントへ住民が相互に鑑賞できるようにするなど、交流する方法について、担当課間で協議を行う。														
特記事項															
事業費(千円)	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村											
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度										
	伊賀市	13,431	14,314	—	—	—									
	笠置町	574	609	—	—	—									
	南山城村	1,439	1,446	—	—	—									
	山添村	720	520	—	—	—									
★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)	A:効果が出ている B:効果は出ているが、改善の余地がある C:効果が出ているが、改善の余地がある D:事業実施に向け取組んでいる E:事業未実施														
評価 CHECK	B														
効果が出ている点	①お互いで開催している事業の情報共有ができた。 ③文化財に関する情報を一定程度共有できている。														
コメント 改善すべき点	②コロナ禍もあり、情報共有が住民の相互参加に結びついていない。 ③講演会や展示会など、文化財の活用に関する情報の共有の促進を図る必要がある。														
課題(改善点) ACTION	①②今後もイベント等の情報共有を行い、住民交流が活発に行われるように努める。 ③文化財に関する情報全般を共有できるよう、イベント等開催時、出版物刊行時等に各自治体担当課で情報の周知について再確認するよう努める。														



第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表




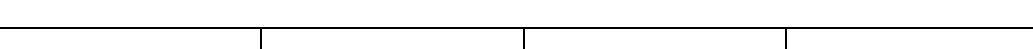
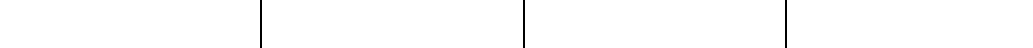

【連携事業】計画及び実績等

部会名					教育部会					年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度				
分野No.	1	分野名	生活機能の強化に係る分野		計画	（実施 P S L A J I N Y U I R L ）	①スポーツイベント・スポーツ教室等の開催情報の共有 ・イベント情報の提供												
政策No.	(3)	政策名	教育					（実施 P S L A J I N Y U I R L ）	②スポーツ指導者の育成 ・研修、情報交換会などによる情報の共有										
施策No.	②	施策名	文化・スポーツ活動の振興							（実施 P S L A J I N Y U I R L ）	③スポーツ施設の相互利用 ・相互利用による利用料などの協議								
事業No.	1322	事業名	スポーツ振興									（実施 P S L A J I N Y U I R L ）	④スポーツ施設の相互利用 ・相互利用による利用料などの協議						
連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村										（実施 P S L A J I N Y U I R L ）	⑤スポーツ施設の相互利用 ・相互利用による利用料などの協議				
担当課	スポーツ振興課	相楽郡東部広域連合生涯学	相楽郡東部広域連合生涯学	教育委員会事務局	（実施 P S L A J I N Y U I R L ）	⑥スポーツ施設の相互利用 ・相互利用による利用料などの協議													
事業の成果目標	相互のイベントの情報共有及び交流をすることで、研修やスポーツ行事の機会が増え、圏域内の交流人口の増加を図る。						（実施 P S L A J I N Y U I R L ）	⑦スポーツ施設の相互利用 ・相互利用による利用料などの協議											
事業概要 PLAN	圏域内で行われるスポーツイベントやスポーツ少年団行事などの開催情報を共有することで、相互に気軽な参加ができる環境づくりを行います。また、住民のスポーツへの関心や参加機会を増やすため、スポーツ推進委員など指導者の育成についても情報共有を行います。 <b>【連携事業】</b> ①スポーツイベント・スポーツ教室等の開催情報の共有 ②スポーツ指導者の育成 ③スポーツ施設の相互利用（2531再掲）								（実施 P S L A J I N Y U I R L ）	⑧スポーツ施設の相互利用 ・相互利用による利用料などの協議									
【参考】第1期課題 (改善点) ACTION	・連携市町村のスポーツ団体のニーズや活動状況などについて把握し実施方法などを再検討する。 ・スポーツ施設の相互利用に向け条件等をどのように整理するか検討を要する。また料金設定を行うのであれば、市内料金とするのか、新たに設定するか（構成市町村に無い施設のみとするか）等の線引きが必要。										（実施 P S L A J I N Y U I R L ）	⑨スポーツ施設の相互利用 ・相互利用による利用料などの協議							
母体となる市町村事業	伊賀市 スポーツ活動振興事業 笠置町 保健体育総務諸経費、スポーツ推進委員会事業 南山城村 保健体育総務諸経費、スポーツ推進委員会事業 山添村 スポーツ活動振興事業												（実施 P S L A J I N Y U I R L ）	⑩スポーツ施設の相互利用 ・相互利用による利用料などの協議					
事業費（千円）	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	（実施 P S L A J I N Y U I R L ）									⑪スポーツ施設の相互利用 ・相互利用による利用料などの協議				
伊賀市	22,171	30,181	-	-	-		（実施 P S L A J I N Y U I R L ）	⑫スポーツ施設の相互利用 ・相互利用による利用料などの協議											
笠置町	1,224	1,224	-	-	-				（実施 P S L A J I N Y U I R L ）	⑬スポーツ施設の相互利用 ・相互利用による利用料などの協議									
南山城村	3,260	3,260	-	-	-						（実施 P S L A J I N Y U I R L ）	⑭スポーツ施設の相互利用 ・相互利用による利用料などの協議							
山添村	4,500	4,500	-	-	-								（実施 P S L A J I N Y U I R L ）	⑮スポーツ施設の相互利用 ・相互利用による利用料などの協議					
評価 CHECK	B				（実施 P S L A J I N Y U I R L ）	⑯スポーツ施設の相互利用 ・相互利用による利用料などの協議													
コメント	情報発信により周知と言う点では効果があった。またイベントでは、少数ではあるがエントリーが行われた。						（実施 P S L A J I N Y U I R L ）	⑰スポーツ施設の相互利用 ・相互利用による利用料などの協議											
改善すべき点	①②各自治体の実情に応じた情報提供の方法などの検討 ③連携市町村の施設を相互利用使用するにあたり、市外利用者の料金設定について、他の例も参考に例規の検討が必要。								（実施 P S L A J I N Y U I R L ）	⑱スポーツ施設の相互利用 ・相互利用による利用料などの協議									
課題 (改善点) ACTION	①②各自治体の実情に応じた情報提供の方法などの検討が必要である。 ③（事業No.2531再掲）スポーツ施設の相互利用に向け条件等をどのように整理するか検討を要する。また料金設定を行うのであれば市内料金とするのか、新たに設定するか等の線引きが必要。										（実施 P S L A J I N Y U I R L ）	⑳スポーツ施設の相互利用 ・相互利用による利用料などの協議							

★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)  
 A: 効果が出ている  
 B: 効果は出ているが、改善の余地がある  
 C: 効果が出ていない  
 D: 事業実施に向け取り組んでいる  
 E: 事業未実施

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名					教育委員会					年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
分野No.	1	分野名	生活機能の強化に係る分野		年度 2022 (R4) 年度 2023 (R5) 年度 2024 (R6) 年度 2025 (R7) 年度 2026 (R8) 年度	①交流事業の実施 共通の歴史文化を知るきっかけづくりとなる事業を行う。		②実施事業の相互共有 連携市町村間で事業にかかるチラシ・ポスター等を随時提供し、圏域内住民への周知に努める。		③講師情報の相互共有 連携市町村で提供可能な講師の情報を収集し、情報提供を行う。		新型コロナウイルス感染症のことをふまえ、また、継続的な事業実施のためにも実現可能性を考慮する。			
政策No.	(3)	政策名	教育												
施策No.	③	施策名	生涯学習活動の推進												
事業No.	1331	事業名	生涯学習												
連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村											
担当課	生涯学習課	相模郡東部広域連合生涯学	相模郡東部広域連合生涯学	教育委員会事務局											
事業の成果目標	圏域住民の多様な生涯学習活動を充実させるとともに、圏域住民が共通した伝統文化を学習する機会を得て交流を図る。				(実施スケジュール) 計画	多様な生涯学習事業のPRや事業連携を行い、子どもも大人も交流し学び合える機会を提供し合うことで、圏域住民の生涯学習活動の幅を広げ、住民が生涯にわたって学習できる環境を充実させます。	【連携事業】 ①交流事業の実施 ②実施事業の相互共有 ③講師情報の相互共有				新型コロナウイルス感染症のことをふまえ、また、継続的な事業実施のためにも実現可能性を考慮する。				
事業概要 PLAN															
【参考】第1期課題(改善点) ACTION	・コロナ禍においては、リモートでの参加など、実施方法を検討する必要がある。														
実績(実施内容) DO	講演会を実施した。 日時 11月20日(日) 13:30~ 場所 ハイピア伊賀、やまなみホール、山添村役場 内容 「神君伊賀越え」は大和・伊賀盆地越えだった！ 参加者 64人														
評価 CHECK	B														
コメント	各会場の参加者数に差があったものの、圏域住民の交流に資することができた。 新型コロナウイルス感染症対策として少人数で開催したが、今後の催事開催における参加者数等の検討。上記事業以外は講師情報等の共有はできなかった。														
課題(改善点) ACTION	以降の催事開催において、参加者数を増やす方向で考えていきたい。														

母体となる市町村事業

事業名	事業費(千円)				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
伊賀市	29,281	38,756	-	-	-
笠置町	772	483	-	-	-
南山城村	1,095	1,270	-	-	-
山添村	2,553	3,413	-	-	-

★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

- A: 効果が出ている
- B: 効果は出ているが、改善の余地がある
- C: 効果が出ていない
- D: 事業実施に向け取組んでいる
- E: 事業未実施

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名					教育委員会					年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
分野No.	1	分野名	生活機能の強化に係る分野		計画	年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度	①図書館(室)の利用促進 ・笠置町、南山城村、山添村住民の上野図書館図書利用カード登録者数を増やすため、笠置町、南山城村、山添村図書室利用者及び住民に上野図書館の利用を案内する。 ・上野図書館が実施する各種事業を毎月圏域内住民に周知する。	①図書館(室)の利用促進 ・笠置町、南山城村、山添村住民の上野図書館図書利用カード登録者数を増やすため、笠置町、南山城村、山添村図書室利用者及び住民に上野図書館の利用を継続して案内する。 ・上野図書館が実施する各種事業を毎月圏域内住民に周知する。		
政策No.	(3)	政策名	教育												
施策No.	③	施策名	生涯学習活動の推進												
事業No.	1332	事業名	図書館運営												
連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村											
担当課	上野図書館	相楽郡東部広域連合生涯学	相楽郡東部広域連合生涯学	教育委員会事務局	（実施スケジュール）	②関係団体への団体貸出による相互支援 ・圏域内の関係団体等への団体貸出について情報提供する。	②関係団体への団体貸出による相互支援 ・圏域内の関係団体等への団体貸出について情報提供するとともに、関係団体の現状把握と支援に努める。								
事業の成果目標	圏域内の図書館(室)を利用できる体制を整えることにより、読書活動の増進に寄与することができる。														
事業概要 PLAN	圏域内に設置する図書館(室)を利用できるよう、継続的に広く周知することにより、広域での読書活動の推進に努め利用促進を図ります。また、ボランティアグループ団体への活動支援として、読み聞かせ等に利用する紙芝居や絵本の団体貸出による相互支援を行います。  【連携事業】 ①図書館(室)の利用促進 ②関係団体等への団体貸出による相互支援														
【参考】第1期課題(改善点) ACTION	①図書カードの登録促進について、継続してHPや広報等で相互に住民周知を行い、さらに登録促進に繋がる周知方法を検討する。														
特記事項															
実績(実施内容) DO	①図書カード登録案内を行うとともに、上野図書館が実施する「特集コーナー」「おはなし会」「企画展示」等各種事業について、毎月、情報提供の中で、利用促進を図った。 ②圏域内の団体から大型絵本等の備品の利用申し込みがあり貸出を行った。														
評価 CHECK	B														
コメント	効果が出ている点 ①定期的に、利用方法及び図書情報を提供することにより、圏域内の住民の利用登録者数の増加に繋がった。(R4年度未登録者数：203人) 南山城106人、笠置町2人、山添村95人 改善すべき点 ①登録についての周知を継続するが、新たな周知方法を検討する必要がある。														
課題(改善点) ACTION	①図書カードの登録促進について、継続してHP等で相互に住民周知を行い、さらに登録促進に繋がる周知方法を検討する。														

母体となる市町村事業

事業名	事業費(千円)					
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
伊賀市	9,141	9,311	-	-	-	
笠置町	245	245	-	-	-	
南山城村	578	543	-	-	-	
山添村	10	10	-	-	-	

★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

A: 効果が出ている  
 B: 効果は出ているが、改善の余地がある  
 C: 効果が出ていない  
 D: 事業実施に向け取り組んでいる  
 E: 事業未実施

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名					産業振興部会					年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度			
分野No.	1	分野名	生活機能の強化に係る分野		計画	(実施スケジュール)	①合同セミナー等の圏域内での周知 地元企業就職への取組を推進するため、伊賀管内において開催している伊賀地域合同就職セミナー(U・J・Iターン)の圏域内への周知を図る。	→										
政策No.	(4)	政策名	産業振興															
施策No.	①	施策名	就労支援と雇用の促進															
事業No.	1411	事業名	雇用、勤労者対策															
連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村														
担当課	商工労働課	商工観光課	産業観光課	地域振興課														
事業の成果目標	圏域内企業への就職者の増加を目指す。				事業概要 PLAN	合同就職セミナーの共同開催等により、圏域内の企業への就職を促進し、地域経済の後継者を育成します。	【連携事業】 ①合同セミナー等の圏域内での周知											
事業概要 PLAN																		
【参考】第1期課題(改善点) ACTION	ウィズコロナを見据えて、より効果的なセミナーの手法や広報活動内容の見直しをアンケート結果等を分析し検討する必要がある。				実績(実施内容) DO	伊賀市・名張市合同企業説明会を3月10日に1日程2部制で開催した。また、新たに甲賀伊賀地域就職面接会を2月3日に開催した。マイナビ講座や移住コンシェルジュによる相談も実施し、就職活動する学生や転職者を中心に企業とのマッチングを図った。両セミナーの周知のため、チラシやポスターを圏域内の新聞・タウン情報誌への折り込みや商工会等の各関係機関への設置、事業の紹介等を行った。												
					特記事項	・事業No.1421企業立地促進事業と連動して進めていく。												
事業名	伊賀市	雇用、勤労者対策事業			事業費(千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	評価 CHECK	B	コメント	効果が出ている点 伊賀市・名張市合同企業説明会に企業60社、求職者150人が参加。甲賀伊賀地域就職面接会に企業22社、求職者86人が参加。				
	笠置町	-																
	南山城村	-				41,618	43,012	-	-	-								
	山添村	雇用促進事業				0	0	-	-	-								
						0	0	-	-	-								
						900	400	-	-	-								
★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)					課題(改善点) ACTION													
A:効果が出ている B:効果は出ているが、改善の余地がある C:効果が出ていない D:事業実施に向け取組んでいる E:事業未実施																		



第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名					産業振興部会					年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度				
分野No.	1	分野名	生活機能の強化に係る分野		計画	(実施スケジュール)	① <b>企業立地促進事業</b> ・圏域内の雇用促進等に繋げるため、工場を新設・増設する者に対し必要な措置を講ずる。 ・産業用地、求人情報、企業間連携のために情報共有を行う。												
政策No.	(4)	政策名	産業振興																
施策No.	②	施策名	企業立地の促進																
事業No.	1421	事業名	企業立地促進																
連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村															
担当課	商工労働課	商工観光課	産業観光課	地域振興課															
事業の成果目標	圏域内での労働人口を維持し、企業及び地域経済を発展させる。				事業概要 PLAN														
事業概要 PLAN	奨励金等の優遇措置をもって、企業誘致を推進します。また、未操業企業の早期操業に向けた支援をするとともに、民間遊休地等への企業誘致を推進します。また、産業用地、求人情報、企業間連携のための情報共有等・蓄積を図ります。  <b>【連携事業】</b> ① <b>企業立地促進事業</b>					特記事項													
【参考】第1期課題(改善点) ACTION	・新たな産業用地等の創出と並行して、アンケート調査を継続的に実施し、企業の進出意向を把握する。 ・物件の積極的な情報提供により誘致の促進を図る。				実績(実施内容) DO		・伊賀市工場誘致奨励金に基づく奨励金 用地助成1件10,002千円 立地奨励11件41,548千円 雇用促進奨励1件720千円 ・企業誘致アンケート調査を実施し、企業の進出意向を把握した。3,591社 ・首都圏で産業交流セミナーを開催し、上野南部丘陵地における民間大規模開発計画予定地等への産業誘致を推進した。												
母体となる市町村事業						評価 CHECK	B												
事業名	伊賀市	企業立地促進事業			コメント		企業の設備投資及び雇用促進、立地優位性の認知度アップ、民間遊休地等への立地促進。												
事業費(千円)		R4年度	R5年度	R6年度		R7年度	R8年度	改善すべき点	企業進出のニーズはあるが、紹介できる物件に限られているため、企業誘致が進んでいない。										
	伊賀市	53,058	32,193	-	-	-	課題(改善点) ACTION		・新たな産業用地等の創出と並行して、継続的に企業誘致アンケート調査を実施し、企業の進出意向を把握する。 ・直接的なトップセールス、既存立地企業・新規立地検討企業・関係機関等と対面でのネットワーク作り、圏域市町村の魅力を直接的に伝える場が必要である。										
	笠置町	0	0	-	-	-		★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)											
	南山城村	0	0	-	-	-			A:効果が出ている B:効果は出ているが、改善の余地がある C:効果が出ていない D:事業実施に向け取り組んでいる E:事業未実施										
	山添村	3,404	5,931	-	-	-													

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名					産業振興部会					年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度			
分野No.	1	分野名	生活機能の強化に係る分野		計画	(実施スケジュール)	①観光振興事業 ①パンフレットの配架等圏域相互の情報発信 ・旬の観光情報や体験・交流メニューを掲載したパンフレット等を集客施設等に配置し、相互に情報発信を行う。また、それぞれが実施する観光PRイベント等で来場者に配布する。	②周遊プラン商品化の提案 ・圏域の周遊プラン商品化につながる検討、協議を行う。	③周遊プラン商品化の提案 ・圏域の周遊プラン商品化について、旅行会社等に提案していく。	「いがぶら」に関しては実行委員会の事務局が市から(株)まちづくり伊賀上野に移り、今後の行政の関わり方や、「いがぶら」の運営について検討が必要。	実績 (実施内容) DO	①パンフレットの配架等圏域相互の情報発信 ・集客イベント実施時や、道の駅等の集客施設において観光情報のポスター・チラシの配架等を行った。 (一部出来ていないという回答もあった) ②圏域での「いがぶら」等観光イベント実施 ・特記事項の理由により実施できていない。 ③周遊プラン商品化の提案 ・提案できていない。 ・何をテーマとし誰をターゲットとするかなど協議していくこととしている。	評価 CHECK	B	効果が出ている点 ①パンフレットの配架等圏域相互の情報発信 パンフレットを相互に配架することで、圏域でのPRにつながる。設置したパンフレットがすぐになくなるなど、情報発信に	改善すべき点 ①パンフレットの配架等圏域相互の情報発信 ・情報発信の効果の検証ができていない。 ・圏域各市町村との連携した事業を実施できていない。 ・パンフレット等の配架場所を内容ごとに選定できていない。 ②圏域での「いがぶら」等観光イベント実施 ・事業に対し行政が関われることの整理ができていない。 ③周遊プラン商品化の提案 ・圏域の周遊プランや観光コンテンツの検討ができていない	課題 (改善点) ACTION	①パンフレットの配架等圏域相互の情報発信 ・旬の情報が発信できる観光パンフレットの定期的な更新が必要。 ・各市町村の観光パンフレット等の配架場所情報を整理し共有する。 ・周知の結果、どれくらいの人が訪れたか、効果が検証できる仕組みづくりが必要。 ②圏域での「いがぶら」等観光イベント実施 ・経費の負担も温め、行政としてそれぞれどのような関わり方を希望するのか、また、どのようなことが可能なかを整理し、実行委員等に協議の場を求める。 ③周遊プラン商品化の提案 ・圏域の周遊プランや観光コンテンツの検討をするため事務レベルでの意見交換・情報共有が必要。
政策No.	(4)	政策名	産業振興															
施策No.	③	施策名	広域観光事業															
事業No.	1431	事業名	広域観光															
連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村														
担当課	観光戦略課	商工観光課	産業観光課	地域振興課														
事業の成果目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に観光情報を発信することで各地域への誘客を促進するとともに周遊につながる旅行商品の造成につなげていく。</li> <li>着地型観光を推進することで、地域での滞在・周遊につなげる。</li> </ul>																	
事業概要 PLAN	圏域に有する自然や歴史文化、伝統産業等の多様な地域資源を発掘・活用し、体験・学習型の観光プログラムの創出・提供に取り組みます。また、情報発信や観光人材の育成について連携して取り組み、圏域内での観光客の流れを作り、圏域内の顧客の共有を図ることにより、周遊性向上と滞在時間や観光消費額の増加を図っていきます。 【連携事業】 ①観光振興事業																	
【参考】第1期課題(改善点) ACTION	<ul style="list-style-type: none"> <li>パンフレットの配置以外の情報発信の取組が必要。</li> <li>圏域での滞在・周遊につながる着地型観光を推進するとともに連携した取り組みを行うため、事務レベルでの検討が必要。</li> </ul>																	

母体となる市町村事業


事業名	事業費(千円)				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
伊賀市	26,609	31,238	-	-	-
笠置町	4,660	5,997	-	-	-
南山城村	20,924	14,915	-	-	-
山添村	17,786	14,785	-	-	-

★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

- A: 効果が出ている
- B: 効果は出ているが、改善の余地がある
- C: 効果が出ていない
- D: 事業実施に向け取組んでいる
- E: 事業未実施

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名					産業振興部会					年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度	
分野No.	1	分野名	生活機能の強化に係る分野		計画	（実施スケジュール）	①地場産業振興事業 ・圏域内の集客力の高いイベント等においてそれぞれの地域ブランドの情報発信や伝統的工芸品などを体験する機会を作りその魅力を伝える。 ・事業連携のための体制づくりや予算措置について検討を進める。									
政策No.	(4)	政策名	産業振興													
施策No.	④	施策名	地域ブランド創造促進事業													
事業No.	1441	事業名	地場産業振興													
連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村												
担当課	商工労働課	商工観光課	産業観光課	農林建設課	特記事項											
事業の成果目標	集客性の高いイベント等で伝統的工芸品や特産品の情報発信、体験機会の創出を行い、購買意欲や来訪意欲を高めることにより地場産業の振興を図る。															
事業概要 PLAN	集客力の高いイベント等への物産展売店や伝統的工芸品などの体験イベントを行うことで、伝統的工芸品や特産品の情報発信、後継者育成支援を行います。  【連携事業】 ①地場産業振興事業															
【参考】第1期課題 (改善点) ACTION	連携事業の実行体制の構築に向けた検討を進める。															
事業名	伊賀市	地場産業振興事業														
	笠置町	—														
	南山城村	—														
	山添村	地場産業振興事業														
事業費 (千円)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	実績 (実施内容) DO									
	伊賀市	5,758	9,037	—	—	—										
	笠置町	0	0	—	—	—										
	南山城村	0	0	—	—	—										
	山添村	1,845	2,500	—	—	—										
	評価 CHECK	B					コメント									
	効果が出ている点	3年ぶりにイベント等でPRができ、事業者の販売意欲や売り上げの向上にもつながった。														
	改善すべき点	連携事業に対する予算措置や実行体制ができていない。														
	課題 (改善点) ACTION	事業連携のための体制づくりや予算措置について検討を進める。														
	★事業の成果目標に対する効果 (5段階評価)															
	A:効果が出ている B:効果は出ているが、改善の余地がある C:効果が出ていない D:事業実施に向け取組んでいる E:事業未実施															

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名					産業振興部会					年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度	
分野No.	1	分野名	生活機能の強化に係る分野		年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度	① 研修等情報交換会 ・圏域内での情報共有により鳥獣被害の実態を把握し、有害鳥獣による農作物への被害防止及び駆除に取り組むため、互いの問題点解決や有効な手段・方法の検討を協議し、有益な情報交換を行う。	→				
政策No.	(4)	政策名	産業振興													
施策No.	⑤	施策名	鳥獣被害防止対策													
事業No.	1451	事業名	鳥獣害防止													
連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村												
担当課	農林振興課	建設産業課	産業観光課	農林建設課												
事業の成果目標	情報共有を行うことにより、同じ方向性を見出し、各自治体の取組に反映させる。				（実施スケジュール）											
事業概要 PLAN	各自治体における取り組みについての情報交換等を行いながら、有害鳥獣による農作物等への被害防止及び駆除を行います。  【連携事業】 ① 研修等情報交換会															
【参考】第1期課題 (改善点) ACTION	新型コロナウイルス感染症は令和4年度になって徐々に鎮静化の傾向にあるが、新種による感染拡大が起こる可能性があり、県境を越える移動が出来ない状態でも担当者同士は情報交換できるよう、リモート会議形式での開催が出来るよう改善したい。				計画	実績 (実施内容) DO										
特記事項																
事業名	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村	評価 CHECK	効果が出ている点	情報交換をすることで、共通及びそれぞれの問題点を共有し、解決方法について意見交換が出来た。									
事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度												R8年度
伊賀市	45,649	—	—	—												—
笠置町	808	—	—	—												—
南山城村	22,313	—	—	—												—
山添村	7,570	—	—	—	—											
コメント	改善すべき点				課題 (改善点) ACTION	新型コロナウイルス感染症拡大が収まりつつあるので、感染予防対策を十分用意したうえで、互いに現地へ向かい、実際の鳥獣被害防止対策の現状を視察したい。										
★事業の成果目標に対する効果(5段階評価) A:効果が出ている B:効果は出ているが、改善の余地がある C:効果が出ている D:事業実施に向け取組んでいる E:事業未実施																
				互いに抱えている鳥獣被害対策上の問題点を事前に用意しておくことと、また開催場所は伊賀市役所だけでなく各町村役場でも行いたい。出席者を担当者だけにすることで人数を絞り、移動しやすくすることで、各市町村で開催した際は、取組内容の現地確認も検討する。												



第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名		環境部会				年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度			
分野No.	1	分野名	生活機能の強化に係る分野			計画	(実施スケジュール) P L A N ユ ー ル )	①啓発物品の作成・配布 ・各市町村の住民団体によるクリーンウォークなど環境美化活動による不法投棄防止の支援 ・広報紙等で不法投棄を防止するための啓発を行う。						
政策No.	(5)	政策名	環境											
施策No.	①	施策名	不法投棄防止対策											
事業No.	1511	事業名	不法投棄防止											
連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村	○							○	○	○
担当課	さくらリサイクルセンター	税住民課	建設環境課	環境衛生課										
事業の成果目標	不法投棄を早期に発見回収することで、不法投棄を抑制する。													
事業概要 PLAN	市町村間・地域間で情報交換・協力しながら、環境パトロールによる不法投棄の抑制及び回収を行います。また、啓発により抑制効果の上昇に努めます。  【連携事業】 ①啓発物品の作成・配布 ②不法投棄防止監視パトロール													
【参考】第1期課題(改善点) ACTION	・圏域内でのパトロール協力の検討。					特記事項								
実績(実施内容) DO	①不法投棄防止看板や不法投棄物回収袋を配布したほか、不法投棄に関し、広報紙への掲載やHPを更新し住民啓発・周知を推進した。 ○周知あり 方法：HP ②それぞれの市町村で環境パトロール等を実施したが、圏域内で合同してのパトロールはできなかった。 ○周知あり 方法：車両へのマグネット貼付け													
評価 CHECK	B													
コメント	効果が出ている点 ・中長期的な傾向として、不法投棄の減少が見られる。  改善すべき点 ・住民一人ひとりへの働きかけについて検討が必要である。 ・監視パトロールに充てる人と時間の確保 ・不法投棄防止を検討する会議の開催を定期的に行う。													
課題(改善点) ACTION	・市広報や市ホームページ等を活用し、更なる住民啓発を行う。 ・圏域外からのごみの持ち込みの可能性はあるが、特定できない等、監視カメラ設置の検討が必要。													

母体となる市町村事業

事業名	事業内容								
	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
不法投棄防止事業	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村	4,587	4,931	-	-	-
不法投棄廃棄物処分事業	笠置町	256	246	-	-	-	-	-	
不法投棄防止事業	南山城村	603	359	-	-	-	-	-	
不法投棄防止事業	山添村	270	270	-	-	-	-	-	

★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

- A: 効果が出ている
- B: 効果は出ているが、改善の余地がある
- C: 効果が出ていない
- D: 事業実施に向け取組んでいる
- E: 事業未実施

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名					環境部会					年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
分野No.	1	分野名	生活機能の強化に係る分野		伊賀市 ○ 笠置町 ○ 南山城村 ○ 山添村 ○	伊賀市 ○ 笠置町 ○ 南山城村 ○ 山添村 ○	伊賀市 ○ 笠置町 ○ 南山城村 ○ 山添村 ○	伊賀市 ○ 笠置町 ○ 南山城村 ○ 山添村 ○	伊賀市 ○ 笠置町 ○ 南山城村 ○ 山添村 ○	伊賀市 ○ 笠置町 ○ 南山城村 ○ 山添村 ○	伊賀市 ○ 笠置町 ○ 南山城村 ○ 山添村 ○	伊賀市 ○ 笠置町 ○ 南山城村 ○ 山添村 ○	伊賀市 ○ 笠置町 ○ 南山城村 ○ 山添村 ○	伊賀市 ○ 笠置町 ○ 南山城村 ○ 山添村 ○	伊賀市 ○ 笠置町 ○ 南山城村 ○ 山添村 ○
政策No.	(5)	政策名	環境												
施策No.	②	施策名	ごみ処理の広域連携の強化												
事業No.	1521	事業名	ごみの資源化												
連携市町村															
担当課	廃棄物対策課	税住民課	建設環境課	環境衛生課											
事業の成果目標	適正なごみ分別により、圏域内の資源化率の向上に努める。					(実施スケジュール) P L A N ユ ー ル ) 計 画	①小型家電リサイクル ・資源化を促進するため、各市町村における家電の分別収集を推進  ②ごみ分別ガイドブックや分別方法掲載した収集カレンダー作成 ・分別収集を徹底するため、分別ガイドブックの作成や収集カレンダーへの分別方法を記載するなどごみ分別の適正化を進める。  ③各ごみ処理施設の処理状況の把握及び情報共有 ・連携市町村のごみの資源化事業による現状把握及び連携事業に係る協議	伊賀市、笠置町、南山城村においては持続可能なごみの適正処理を行うため、広域化・集約化に向けた検討を行う必要がある。	伊賀市、笠置町、南山城村においては持続可能なごみの適正処理を行うため、広域化・集約化に向けた検討を行う必要がある。	伊賀市、笠置町、南山城村においては持続可能なごみの適正処理を行うため、広域化・集約化に向けた検討を行う必要がある。	伊賀市、笠置町、南山城村においては持続可能なごみの適正処理を行うため、広域化・集約化に向けた検討を行う必要がある。	伊賀市、笠置町、南山城村においては持続可能なごみの適正処理を行うため、広域化・集約化に向けた検討を行う必要がある。	伊賀市、笠置町、南山城村においては持続可能なごみの適正処理を行うため、広域化・集約化に向けた検討を行う必要がある。	伊賀市、笠置町、南山城村においては持続可能なごみの適正処理を行うため、広域化・集約化に向けた検討を行う必要がある。	
事業概要 PLAN	圏域全体において、ごみの分別を適正に行うことによって、資源化が可能なものを極力資源化するとともに、不適切なものの再分別等にかかる費用・労力を減らします。  【連携事業】 ①小型家電リサイクル ②ごみ分別ガイドブックや分別方法掲載した収集カレンダー作成 ③各ごみ処理施設の処理状況の把握及び情報共有														
【参考】第1期課題(改善点) ACTION	定住自立圏の圏域と処理広域化の圏域が異なることから、今後の広域化の枠組みをどのようにするか検討から始める必要がある。 定住自立圏を構成する自治体間であっても一廃は自区内処理が原則であり、定住自立圏と言えどもそれぞれの自治体において自区内処理に向けた取り組みが求められる。 山添村は大和まほろば定住自立圏でも「一般廃棄物の効率的な広域処理の推進」を進めており、調整を要する。 また、新型コロナの影響下において、広域で連携してどのような取り組みができるのか検討する必要がある。														
特記事項															
実績(実施内容) DO	①市では、40箇所に回収ボックスを設置し小型家電の回収を進めた。町村では分別ガイドブックの作成やカレンダーでの分別回収の啓発をし、回収量が年々増加している。 ○周知あり 方法：ごみ分別ガイドブック、HP、カレンダー ②分別方法の一般的なルールを記載した収集カレンダーを全戸配布した。外国語版を作成し配布した。 また圏域内で周知方法や工夫点を情報共有した。 ○周知あり 方法：HP ③各ごみ処理施設の処理状況について情報交換を行った。														
評価 CHECK	B														
コメント	・拠点収集やごみ分別ガイドブック、ごみカレンダーの認知が一定進んでいる。 ・圏域内で情報共有することで意識の向上につながっている。  ・ごみ分別ガイドブックの改訂が必要なところがある。 ・外国語版ごみ分別アプリの導入に関する周知が必要である。														
課題(改善点) ACTION	・ごみ分別ガイドブックの改訂を行う。 ・ごみ分別アプリの普及に向けた啓発を行う。 ・生ごみ処理容器の普及に向けた啓発を行う。 ・リサイクル率を上げるため、圏域内で何ができるかの検討を行う。														

母体となる市町村事業





事業名	事業内容					
	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村	R4年度	R5年度
一般廃棄物減量等推進事業						
一般廃棄物減量化促進事業						
リサイクル収集運搬事業						
リサイクル回収事業						
事業費(千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	伊賀市	9,984	10,293	-	-	-
	笠置町	200	159	-	-	-
	南山城村	95	95	-	-	-
	山添村	1,232	1,232	-	-	-

★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

- A: 効果が出ている
- B: 効果は出ているが、改善の余地がある
- C: 効果が出ていない
- D: 事業実施に向け取り組んでいる
- E: 事業未実施

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名		環境部会				年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
分野No.	1	分野名	生活機能の強化に係る分野			計画 (実施スケジュール) PLAN (実施内容) DO 評価 CHECK コメント 改善すべき点 課題 (改善点) ACTION	①啓発物品の配布 ・共同して啓発物品を作成し、配布する。				
政策No.	(5)	政策名	環境								
施策No.	③	施策名	木津川流域の環境整備								
事業No.	1531	事業名	環境美化								
連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村							
担当課	環境センター	税住民課	建設環境課	環境衛生課							
事業の成果目標	河川美化活動を通して、河川環境保全に対する意識の高揚を図る。										
事業概要 PLAN	木津川及びその支流における河川美化活動及び啓発事業を毎年継続的に実施するとともに、その活動内容、成果等を発信し、活動の輪を広げます。  【連携事業】 ①啓発物品の配布 ②河川美化活動の実施										
【参考】第1期課題(改善点) ACTION	新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため伊賀市で計画していた大規模な河川美化活動が中止となった。美化活動手法の多様化の更なる検討を行う。										
特記事項	・連携市町村間の情報交換を活発に行い、河川環境美化を進める。										
実績 (実施内容) DO	・流域の自治会、に対して美化活動実施を周知した。(伊賀市) ・美化活動当日は、ケーブルテレビの取材を受け、放送した。(伊賀市) ・防災無線を通じて住民への周知を行い参加を呼びかけた。(笠置町) ・住民周知 無し ※コロナ禍により、住民参加型の美化活動を控えたため (南山城村) ・役員会で開催の協議の上、文書で会員に周知した(山添村)										
評価 CHECK	A										
コメント	・河川環境の美化活動に参加してもらうことで、河川環境美化の啓発となり、意識の向上を図ることができた。										
改善すべき点											
課題 (改善点) ACTION	・美化活動を連携して行うため、実施手法を検討する。										

母体となる市町村事業

事業名	事業内容					
	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村	R4年度	R5年度
環境保全対策事業						
木津川河川美化活動事業						
公衆衛生対策事業						
環境美化事業						
事業費(千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
伊賀市	204	188	-	-	-	
笠置町	33	33	-	-	-	
南山城村	62	34	-	-	-	
山添村	54	54	-	-	-	

★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

- A: 効果が出ている
- B: 効果は出ているが、改善の余地がある
- C: 効果が出ていない
- D: 事業実施に向け取組んでいる
- E: 事業未実施

部会名					防災部会				
分野No.	1	分野名	生活機能の強化に係る分野						
政策No.	(6)	政策名	防災						
施策No.	①	施策名	広域連携による防災力強化						
事業No.	1611	事業名	防災資機材整備						
連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村					
	○	○	○	○					
担当課	防災危機対策局	総務財政課	総務課	総務課					
事業の成果目標	計画的に災害用備蓄品等を備え、相互支援体制を構築し、災害時には、圏域住民へ災害用長期保存食や生活用品等の備蓄資機材の相互支援を行う。								
事業概要 PLAN	避難者への救援物資を迅速に配布できるよう備えます。また、災害時には、災害用長期保存食や生活用品等の備蓄資機材の相互支援を行います。 <b>【連携事業】</b> ①計画的な災害用備蓄品等の購入 ②相互支援の体制づくり等の検討 ③防災訓練相互参加								
【参考】第1期課題(改善点) ACTION	防災訓練等を通じて、救援物資等の応援体制や実行性のある相互支援の体制づくりに繋げる必要がある。								
計画	年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度			
		①計画的な災害用備蓄品等の購入 ・災害用長期保存食や生活用品等を購入する							
		②相互支援の体制づくり等の検討 ・体制づくり等相互支援に係る協議を行う							
実績(実施内容) DO	③防災訓練相互参加 ・防災訓練への相互参加を行う (支援物資の要請、支援物資の搬送方法、フィードバックなど)								
	特記事項								
事業費(千円)	伊賀市	3,248	3,612	-	-	-			
	笠置町	0	374	-	-	-			
	南山城村	500	1,200	-	-	-			
	山添村	759	509	-	-	-			
	事業名	伊賀市 防災資機材整備推進事業 笠置町 防災資機材整備推進事業 南山城村 災害対策事業 山添村 防災資機材整備推進事業							
評価 CHECK	B								
コメント	効果が出ている点 ・計画的な災害用備蓄品等を購入した。 ・災害用長期保存食や生活用品等を購入した。								
改善すべき点	・相互支援の体制づくり等の検討を行う。 ・防災訓練への相互参加について協議が必要。								
課題(改善点) ACTION	防災訓練等を通じて、救援物資等の応援体制や実行性のある相互支援の体制づくりに繋げる必要がある。								

★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

- A: 効果が出ている
- B: 効果は出ているが、改善の余地がある
- C: 効果が出ている
- D: 事業実施に向け取り組んでいる
- E: 事業未実施



部会名	インフラ部会			
分野No.	1	分野名	生活機能の強化に係る分野	
政策No.	(6)	政策名	防災	
施策No.	①	施策名	広域連携による防災力強化	
事業No.	1612	事業名	河川整備	
連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村
	○	○	○	○
担当課	建設管理課	建設産業課	建設環境課	農林建設課
事業の成果目標				
事業概要 PLAN	木津川の河川改修など治水対策や砂防事業の要望を行い、地域の安全の向上を図ります。			
【参考】第1期課題(改善点) ACTION	圏域として、要望活動等も重要であるため、必要に応じて会議等を開催し、情報交換や連携を進めます。			

母体となる市町村事業

事業名	伊賀市					
	笠置町					
	南山城村					
	山添村					
事業費(千円)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	伊賀市	284	—	—	—	—
	笠置町	84	—	—	—	—
	南山城村	154	—	—	—	—
	山添村	51	—	—	—	—

★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

- A: 効果が出ている
- B: 効果は出ているが、改善の余地がある
- C: 効果が出ていない
- D: 事業実施に向け取組んでいる
- E: 事業未実施

年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
計画 (実施スケジュール)	当事業は、必要に応じ取り組みを実施する。				
	・当事業については、必要に応じ取り組みを実施する。				
特記事項					
実績(実施内容) DO					
評価 CHECK					
コメント	効果が出ている点				
	改善すべき点				
課題(改善点) ACTION					

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等


部会名				防災部会				年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
分野No.	1	分野名	生活機能の強化に係る分野										
政策No.	(6)	政策名	防災										
施策No.	②	施策名	相互応援体制の確立										
事業No.	1621	事業名	常備消防										
連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村									
担当課	消防総務課 伊賀消防署管理課	総務財政課 相楽中部警防	総務課 相楽中部警防	総務課									
事業の成果目標	合同訓練、研修等により、連携強化し地域住民の安心安全を向上させる。												
事業概要 PLAN	火災・救急・救助活動のために消防車両など現場装備品の更新・整備を実施し、装備の充実により、円滑な消防活動を実施します。救急では、お互いのMC教育の充実、境界付近で発生した救急事案の連携強化、双方の病院受け入れ態勢の充実を図ります。また、応援協定に基づく合同訓練・図上訓練を実施します。  <b>【連携事業】</b> ①現場装備品の更新・整備 ②合同訓練・図上訓練の実施						計画	① <b>現場装備品を更新・整備の実施</b> ・現場活動を円滑に行うため救急自動車等の現場装備品の更新・整備を行う。 ・消防水利充実を図るため、耐震性防火水槽を設置及び維持管理を行う。  ② <b>合同訓練・図上訓練の実施</b> ・特殊な災害に備え、機能技術の向上を図るための訓練を行い、情報共有及び技術の向上を行う。 ・木津川水防訓練への訓練見学などにより、情報共有など充実を図る。  ・奈良県広域消防本部との隊員研修による交流を行うことにより、防災力の充実強化につなげる。					
【参考】第1期課題(改善点) ACTION	消防相互応援協定をより実効性のあるものにするため、連携をとっている消防本部と、定期的に合同訓練や研修などを開催する。 コロナ禍において、実施が可能な訓練方法について、協議をする必要がある。						実績(実施内容) DO	①救急車2台及び現場装備品を購入した。(伊賀市) 耐震性防火水槽を、3基整備した。(伊賀市) ②合同訓練及び水防訓練(相楽中部(消)の見学については、コロナ禍のため実施できなかった。) 奈良県広域消防本部と隊員研修による交流を、5回実施した。					
母体となる市町村事業	伊賀市	常備消防関係事業、救急活動関係事業											
事業名	笠置町	常備消防体制の強化、救急体制の強化											
	南山城村	常備消防体制の強化、救急体制の強化											
	山添村	常備消防関係事業											
事業費(千円)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	評価 CHECK	B					
	伊賀市	72,523	83,946	-	-	-	コメント	①救急車の購入、防火水槽を整備することにより圏域住民の安心安全が向上した。 ②隊員研修などの交流により、防災力の充実強化・情報の共有につながった。					
	笠置町	51,795	46,611	-	-	-	改善すべき点						
	南山城村	14,400	141,521	-	-	-	課題(改善点) ACTION	②伊賀市消防本部と相楽中部消防組合での、消防相互応援協定は、隣接応援が主眼で、境界付近に限定されるが、意見交換や訓練の見学など、情報共有を図る必要がある。					
	山添村	99,000	97,939	-	-	-							

★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

A:効果が出ている  
 B:効果は出ているが、改善の余地がある  
 C:効果が出ている  
 D:事業実施に向け取り組んでいる  
 E:事業未実施

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名					防災部会					年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
分野No.	1	分野名	生活機能の強化に係る分野		伊賀市 ○ 笠置町 ○ 南山城村 ○ 山添村 ○	①消防団活動の相互情報共有 ・消防団各種訓練を連携市町村と相互に情報共有を図る。	①消防団活動の相互情報共有 ・消防団活動の情報交換会を開催し情報共有を図る。		(実施スケジュール) PLAN 第3次伊賀市消防団活性化計画に基づき、各種災害に対して被害を軽減するため相互の連携や協力により、災害時への対応を迅速に行えるよう、災害対応訓練、研修、情報の共有等を行い、それぞれのレベルアップ、災害時対応の充実につなげる。 【連携事業】 ①消防団活動の相互情報共有	結んだ協定を、より実効性のあるものにするため、引き続き、研修会や合同訓練等を定期的に行う。コロナ禍において、実施が可能な訓練方法を協議する必要がある。	実績 (実施内容) DO 感染拡大防止のため、交流会は実施しなかった。	評価 CHECK D	コメン ト 効果が出ている点 改善すべき点 コロナ禍において、実施が可能な訓練方法を協議する必要がある。	課題 (改善点) ACTION 協定をより実効性のあるものにするため、コロナの状況も見ながら引き続き相互に情報共有を図る。	
政策No.	(6)	政策名	防災												
施策No.	②	施策名	相互応援体制の確立												
事業No.	1622	事業名	消防団												
事業の成果目標	合同訓練や研修会の実施により、災害時応援体制の確立と地域防災力を向上させる。														
担当課	地域防災課	総務財政課	総務課	総務課											
事業概要	結んだ協定を、より実効性のあるものにするため、消防団各種訓練を連携市町村と相互に情報共有を図る。				母体となる市町村事業 事業名 伊賀市 消防団関係事業 笠置町 非常備消防体制の充実と強化 南山城村 非常備消防体制の充実と強化 山添村 消防団関係事業 事業費(千円) 伊賀市 195,433 185,776 - - - 笠置町 9,349 9,838 - - - 南山城村 17,290 16,749 - - - 山添村 31,600 27,388 - - -										
【参考】 第1期 課題 (改善点) ACTION															
特記事項															
事業費(千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		R8年度									
伊賀市	195,433	185,776	-	-		-									
笠置町	9,349	9,838	-	-	-										
南山城村	17,290	16,749	-	-	-										
山添村	31,600	27,388	-	-	-										

★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

- A:効果が出ている
- B:効果は出ているが、改善の余地がある
- C:効果が出ていない
- D:事業実施に向け取組んでいる
- E:事業未実施